

1 星座と星

- (①) ) … <sup>みづか</sup>自ら<sup>かがや</sup>光り輝く星
- 星座は全天にあり, 日本では約 (②) ) を見ることができる
- 明るさにより 1 等星から 6 等星まであり, 1 等級あがると明るさは約 (③) ) 倍になる
- 1 等星は (④) ) 個ある
- 1 等星の明るさは 6 等星の (⑤) ) 倍になる
- 恒星の色のちがいは (⑥) ) で決まる
- 表面温度が高いと (⑦) ) に, 低いと (⑧) ) になる

星の名前	色
スピカ・リゲル	⑨
シリウス	⑩
太陽・カペラ	⑪
アルクトゥルス・アルデバラン	⑫
アンタレス・ベテルギウス	⑬

2 四季の星座

春の大三角

- うしかい座… (①) )
- おとめ座 … (②) )
- しし座 … (③) )
- ※北の空では (④) ) が見やすい位置にある

## 夏の三角

はくちょう座… (⑤ )

わし座 … (⑥ )

こと座 … (⑦ )

※南の空にはS字形の (⑧ ) が見えアンタレスが赤く光っている

## 秋の四辺形

ペガサス座とアンドロメダ座の一部で秋の四辺形が見える

※北の空にはW (M) 字形の (⑨ ) が見える

## 冬の三角

こいぬ座 … (⑩ )

おおいぬ座… (⑪ )

オリオン座… (⑫ )

### 3 星の日周運動

○恒星は東から西へ1時間に約 (① ) 度ずつ動いて見える

(計算) ② \_\_\_\_\_

○この見かけの動きを (③ ) という

→原因: 地球が自転しているから

○北の空の恒星は (④ ) を中心に (⑤ ) に回って見える

### 4 星の年周運動

○恒星は東から西へ1日に約 (① ) ずつ動いて見える

○この見かけの動きを (② ) という

→原因: 地球が太陽を中心に公転しているから

○北の空に見える星は同じ時刻に見たとき、

北極星を中心に1か月で約 (③ ) 度 (④ ) に回って見える

(計算) ⑤ \_\_\_\_\_

5 星座早見

○星座早見は(①)と(②)を重ね合わせてできている

○星座早見の中心には(③)がある

○(④)が手前になるように持ち、頭上にかかげて観察する